

支え合い活動の活性化に向けて ～生活支援体制整備事業とは～

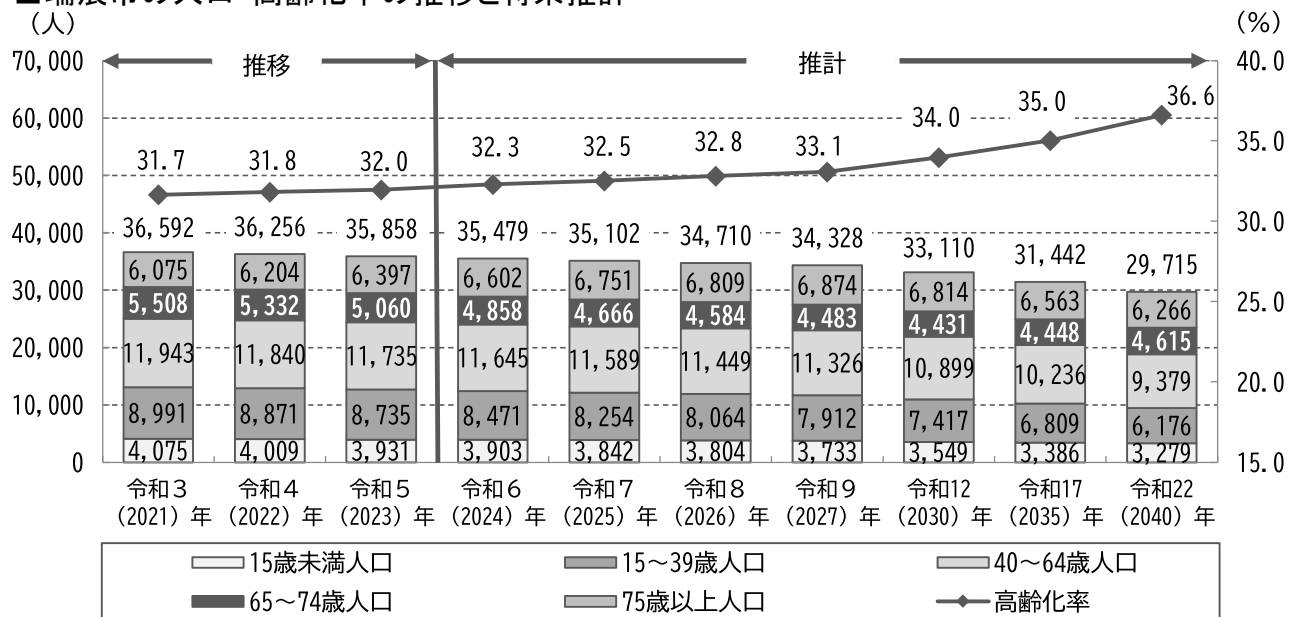
1. 高齢化の現状

【高齢化率】

全 国 29.1%(令和5年10月1日現在) ⇒ 令和19年 3人に1人が高齢者
瑞浪市 32.3%(令和6年9月1日現在) ⇒ 令和 9年 3人に1人が高齢者

高齢者数が増加することにより、医療と介護の両方を必要とする方の増加が見込まれる
高齢者の生活を支援する**支え手不足**が深刻な問題

■瑞浪市の人口・高齢化率の推移と将来推計

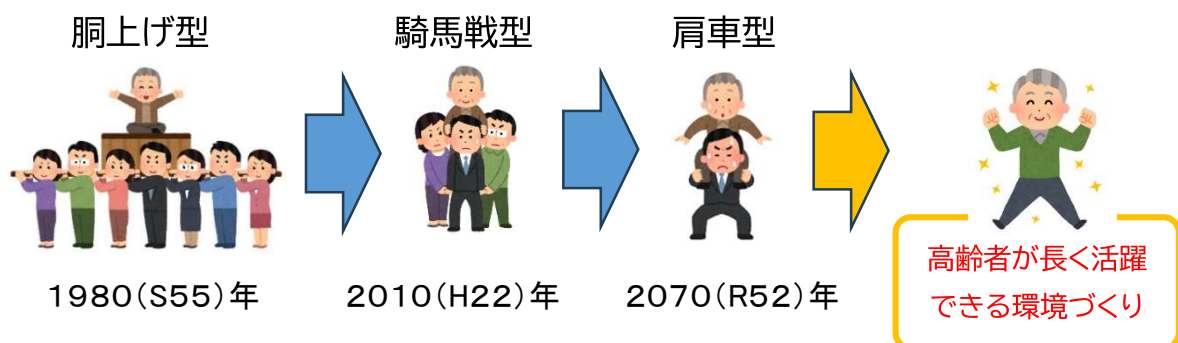


資料：実績値…瑞浪市「住民基本台帳」 各年10月1日現在
推計値…コーホート変化率法により算出

■支え手を必要とする社会的背景

	1950年 (S25)	1980年 (S55)	2010年 (H22)	2023年 (R5)	2070年 (R52)
65歳以上人口を 15～64歳人口で支える割合	12.1	7.4	2.8	2.0	1.3

※令和6年版高齢社会白書より



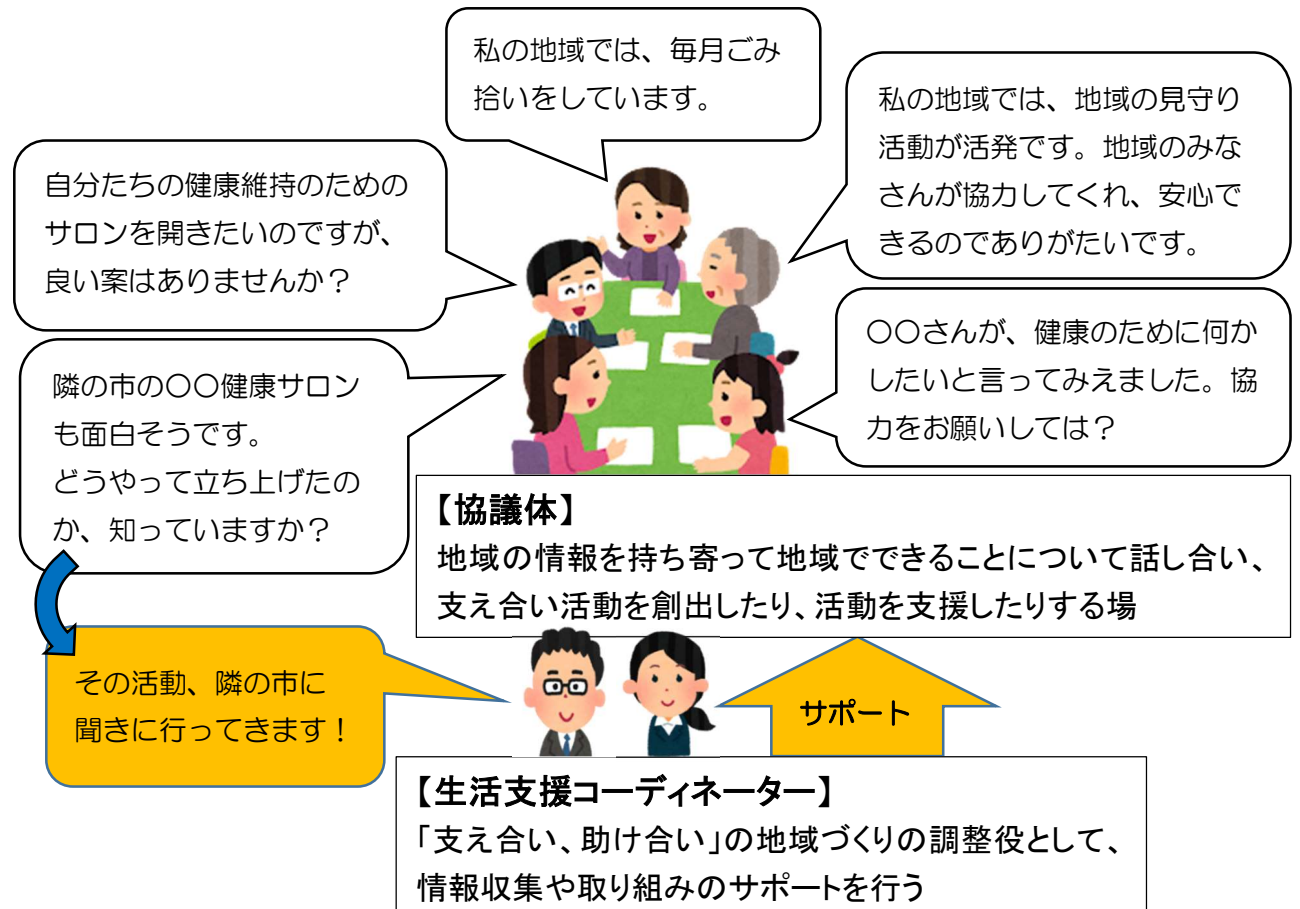
2. 生活支援体制整備事業とは

地域住民のみなさんや元気な高齢者の方に、**高齢者の生活を支える支え手**になってもらい、お互いに助け合うことを通じて**介護が必要になる時期を先送りすること、助け合いの地域づくり**を行うことを目的とした事業

住民のみなさんが主体となった

住民同士の支え合いを大切にした、**助け合いの地域づくりの構築**を目指します。

活動内容は高齢者支援に限らず、子どもや障害者、生活に困っている人など様々な方を対象とします。



■協議体の3つの活動

- ① 地域の情報を持ち寄り、地域を知る。
- ② 地域で「取り組みやすい課題」を見つけ、「取り組みやすい活動」を考える。
- ③ 地域からその活動の協力者を探し、働きかけを行う。

■瑞浪市の生活支援コーディネーター

担当	連絡先	担当地区
瑞浪市社会福祉協議会 岩島、足立	68-4148	稲津、陶
千寿の里 西小田 浅川	66-1030	瑞浪、明世
美濃陶生苑 片桐	63-2843	土岐、釜戸、大湫、日吉